



ほけんだより



平成30年7月
玉島保育園

6月18日に起きた地震でライフラインが止まり、不自由な生活を過ごしていたご家庭も多かったと思います。大人だけでなく、子ども達にとっても大きなストレスとなりました。ストレスによる症状は後から出ることもあります。しばらくは注意深く子ども達の様子を観察していきますね。ストレスの緩和には、スキンシップがとても大事です。笑顔で抱きしめる、頭を撫でる、手をつなぐ、抱っこをするなど。年齢にかかわらず、どんどんスキンシップを取ってくださいね。思いきり楽しい夏が過ごせるよう園では、休憩をしっかり取ること、こまめな水分補給をすることも心がけています。ご家庭でも十分な睡眠・健康管理のご協力よろしくお願ひします。

プール遊びできますか？

子どもたちの大好きなプール遊び。元気に楽しく遊べるよう、必ず毎朝の体調のチェック、お願いします。
※水いぼについては、ラッシュガード等で覆い隠すようにしてください
※頭じらみは、髪の毛の接触で感染するため、プールには入れません



《手足口病について》

気温が上がると、夏カゼの流行が始まります。手足口病はその一つで、手・足・口(口内炎)・おしりなどに発疹が出て発熱することもあります。熱がなく元気があり、口内炎がひどくなければ受診後、登園申出書を提出し登園してください。
園内で手足口病を疑う発疹を見つけた時には保護者の方へ連絡させていただきますので、降園後に小児科を受診してくださいね。

園内での感染拡大を防ぐため、ふき掃除・おもちゃの消毒回数を増やすなどの対応をしていきます。



7月のよてい

- 7月 2日(月) 4・5歳 身体計測
- 7月 3日(火) 2・3歳 身体計測
- 7月 5日(木) 内科健診
京都大学 恩田佳幸医師
- 7月11日(水) 0・1歳 身体計測



とびひ(伝染性膿痂疹)

虫さされやあせも、掻きむしった場所に黄色ブドウ球菌などが感染することで発症します。アトピー性皮膚炎や乾燥肌の子どもさんは、皮膚のバリア機能が低下しているのでとびひになりやすい状態です。肌をかきむしらないようにいつも爪を短く切っておき、清潔・保湿・スキンケアをすることで、とびひを防ぎましょう。



熱中症に注意

気温が高い日が続くと心配なのは熱中症です。特に乳幼児は、体温調節機能が十分に発達しておらず、大人よりも低い位置にいるため、より注意が必要です。

外に出る時には帽子をかぶり、こまめな水分補給を。また、睡眠不足は脳が疲労し、体温調節機能を鈍らせてしまいます。十分な睡眠をとるようにしましょう。

